

自続可能な
諏訪資源循環研究会

お盆休み 特別イベント

溶けたガラスに触れて、 ガラスの不思議を体験しよう

8月11日(月)～15日(金)

期間中 毎日、午前 11 時よりガラスの里の
「ガラスラボ」で開催します。

参加費 無料

自由研究にも使える！諏訪でリサイクルされるガラス！

諏訪市が進めるガラスの資環（サーキュラーエコノミー）の活動を学ぼう！

溶けたガラスのエキシビジョン

内容：ガラスの魅力を知る溶けたガラスのエキシビジョン

- ・当日希望者向けに溶けたガラスに触れる体験会
（お子様優先、Max5 名程度）
- ・ガラス資源の循環についてのクイズ 等
- ・約 30 分程度の体験会となります

注）・安全上、保護者を含め、1 回 約 20 名程度で締め切らせていただきます。

・作業準備の関係で、開始時間が前後することがあります。

**参加希望者は、10 時 30 分までに、
ガラスラボにお越しください。**

自続可能な諏訪資源循環研究会とは

国内の建築物の解体現場から出る窓ガラスの廃棄量は年間 50 万トンとも言われており、この内水平リサイクル率は実質 10%程度だと言われている。

原料資源を持たず、また埋立処理場の切迫する日本では、このリサイクル率の改善は重要な課題となっている。

中でも全国で毎日どこかで解体が進んでいる一般家屋を含む低層建築物からの廃ガラスは年間で 10 万トンに及び、その回収には地域連携が不可欠です。例えば諏訪地域でも年間 250～400 トン程度の板ガラスが廃棄されており、この課題へ取り組むために、全国に先駆けて自続可能な諏訪資源循環研究会を設立しました。

この研究会は、諏訪湖の廃棄される砂や各種廃棄ガラスの再資源化を目指し調査研究を行ってきた。

ガラスの再資源化は、埋立処理負担の削減に加え、リサイクル・リユース・アップサイクルにより大きな CO2 排出削減効果もある。

諏訪平・松本平を対象エリアとし再資源化及び活用先の探索事業を構築し、

対象地域の市民・企業・行政との協働を広く進め、地域の方々と共に公益な一般社団法人化を目指し、持続可能な地域の実現を目指します。

